

第24回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会ミニバスケットボール競技
茨城県大会結果速報(2日目男子第三試合)

平成17年7月31日

【Aコート13時40分開始】 男子1位リーグ第三試合

八代	58	19	VS	8	43	吉川
山梨県		11		9		
		14		14		
		14		12		
						埼玉県

1Q 八代 吉川 それぞれのセンター同士が点を取り合う展開。スチールからの速攻を含めセンターの力で勝る八代が11点をリード。

2Q 吉川は高さを生かせず得点が伸びない、一方高さを怖がらず果敢にインサイドを攻める八代。攻撃とボールへの執着心に勝る八代がリードを拡げ点差を13点として後半へ。

3Q 吉川 ドリブル突破、ゴール下のシュートを八代 が防ぐも、吉川 がポストプレーを含め得点を重ねる。八代は全員が得点を上げ互角の内容となる。

4Q 吉川は が頑張りを見せ9得点。それに対し八代はフリースローを含め全員得点。両チーム一歩も引かず互角の戦いとなる。前半のリードを保った八代がそのまま逃げ切り関東優勝を勝ち取る。

総評 高さで上回る吉川に対し、ボールへの執着心と最後までスピードの落ちなかった八代の頑張りが勝利に結びついた好ゲームであった。

(戦評) 赤津 正美

【Bコート13時40分開始】 男子2位リーグ第三試合

海老名	33	6	VS	22	44	栃木
神奈川		10		6		
		7		8		
		10		8		
						佐野

1Q 海老名ゾーン、佐野プレスで試合が始まる。タイトで強いボールカットから佐野 が得点を重ねる。一方、海老名中央 のゴール下のシュートで追いつがる。

2Q 16点差をつけられた海老名中央は、 の連続シュートで平静さを取り戻すものの、佐野 の巧みなゴールで12点差で前半を折り返す。

3Q 後半に入ると海老名中央はプレスを仕掛ける。両チームともディフェンスの頑張りで得点が伸びないまま最終クォーターへ。

4Q 海老名中央 のドリブルインとゴール下シュートで追い上げるが、佐野のディフェンスは足が止まらず、11点差をつけて佐野が2日目2勝をものにした。

総評 全勝を目指す佐野に対し、佐野を破り逆転勝利に持ち込もうとする海老名中央との戦いであったが、最後までコート内を全力で走りきったディフェンスの佐野が勝利した。海老名中央も技術的には高いレベルにあるのでこれからが楽しみである。

(戦評) 川嶋 孝雄

【Cコート13時40分開始】 男子3位リーグ第三試合

開桜小	38	8	VS	16	40	下妻
東京		13		4		
		6		5		
		11		15		
						茨城B

1Q 開始2分まで、互いに攻めきれずロースコアの内容。先に下妻がリズムを取り戻し、 のインサイド、 のアウトサイドで得点しリードを奪う。

2Q 序盤はお互い一進一退が続いたが、残り2分で開桜の が気迫のドライブインや速攻で次々と加点し逆転に成功。開桜小1点リードで折り返す。

3Q このクォーターは、攻守共に互角。大事な所で下妻 がシュートを決め同点とすれば、開桜小も のアウトサイド のインサイドで加

4Q 一進一退でスタートした4Q、残り2分30秒で開桜の攻撃の起点となる の5ファール退場となる。ここから下妻は がインサイド

総評 両チームとも最後まであきらめず、気迫のプレーで取られたら取り返す見ごたえのあるゲームだった。

(戦評) 長妻 宏典